

47 「食」を切り口とした地域の活性化

【き】 商店街が生き残るための唯一の道、地域活性化

地域の商店街の若手が集まり、「何とかして地域の活性化を図る以外、自分たちに生き残る方法はない」と考え、平成12年にグループを結成し、地域の活性化に取り組み始めました。

【概】 ホルモン焼きうどん VS ぼっかけカレー

平成15年11月9日、地域の歴史にちなみ『宮本武蔵初決闘の地からの挑戦～食と野球の二刀流対決』と銘打ったイベントを開催しました。

ひとつは、佐用名物ホルモン焼きうどん対長田名物ぼっかけカレーの食対決。もう一つは、ホルモンうどんず対元阪神・安達智次郎率いるぼっかけーずの野球対決です。

この時、多くの地域住民、地元高校生の協力を得、地域全体を巻き込んだ活動となりました。

【成】 触発されて若者の活動が始まる

「ホルモン焼きうどん」を通して「佐用」の知名度が上がり、「ホルモン焼きうどん」を目当てに佐用を訪れる方が増えました。

また、イベントの運営協力をしてくれた商工会青年部部員、佐用高校の生徒から今後も活動を行いたいとの声が上がリ、それぞれ地域団体のお手伝いをするなどして頑張っています。親から「活動を通じて子どもが変わった」との声がありました。

【夢】 活動の輪を広げたい

地域の活性化は、地域の活動家だけでも、商工業者だけでも、行政だけでも実現しません。地域住民みんなで取り組むことが大切です。現在の活動の輪を、もっと広げたいと考えています。

佐用まちづくりワーキンググループ

代表者氏名：千種和英
活動地域：佐用町を中心に広く活動
事務所等：佐用郡佐用町佐用3018-6
電話番号：0790-82-2305
FAX番号：0790-82-3321

ともに取り
組んだ団体等

神戸ながたTMO

過疎(佐用)・震災復興(長田)と課題は違いますが、地域に対する思いに共通点が多くありました。振興策を同じにしてイベントを開催しようと持ちかけ、協働することができました。

ホルモン焼うどんくわせ隊

普段から「ホルモン焼うどん」のPRのために、県下各地で活動をしている団体です。名誉隊長を井戸知事に委嘱しています。

活用した支援

地域づくり活動応援事業(兵庫県)



イベント(H15.11.1)のポスター



「三方一両得」を基本に

活動資金を確保するために、企業、団体に協賛・スポンサーを募りますが、協賛を得るための考え方の基本は「三方一両得」です。

自分たちだけのことだけを考えているのは駄目で、先方にどんなメリットがあるのかを先に考え、そのことを提案することが重要です。メリットとは、たとえば経済的な利益、その企業等の広報、新たな人脈の紹介などです。

また、協賛を得るための前提として普段からのお付き合いが重要です。普段から持ちつ持たれつの関係がないと、そのときだけお願いしても無理です。



仲間探しの2つのポイント

ともに活動に取り組む仲間を見つけるためには、まず第1に、自分たちが楽しむことです。自分たちが楽しくないと他の人を巻き込むことはできません。

第2に、実績・成果をあげることです。小さな実績・成果でも積み重ねていくと周りが注目し、近づいてきます。

求ム!

「楽しい事を楽しくやる」「面白くないことはやらない」を合言葉に色々な切り口で活動を行っています。

企画・資金調達・広報・実行も、豊富な人脈・情報網を駆使し、充実している...と自負しています。何かしてみたい人、楽しい事が好きな人は一緒にやってみませんか？



大活躍の「ホルモンうどんくわせ隊」

読者の皆さんへのメッセージ

県の西端に位置する人口8000人余の小さなまちですが環境問題（空き缶回収）・IT普及（ブロードバンド誘致）・新ブランド育成（ホルモン焼きうどん）・青少年育成（若者ゆうゆう広場）と様々な切り口で、商店街の若手ががんばっています。ぜひ一度、遊びに来てください。